



新小山市民病院ニュースレター

Shin-kyama City Hospital News letter

Vol.44

1 副院長挨拶 ～ 院内・喜怒哀楽 ～

皆さん、昭和を代表する不適切なおじさんです。

人の話を聞かない、すぐ怒る、芸能ネタと下ネタが少し好き。何よりも、熱意というよりそばにいと暑苦しい、これが私へのスタッフの愛のある人事評価です。

昔の好きな言葉は、「気合い・根性」、口癖は、「しっかりしろよ!!!」

院長先生、解っていますよ。これら全て令和の時代では、OUTです。今は無理やり、「愛と共感」とお答えしています。韓流ドラマの題名か戦国武将のキャッチフレーズのようなですね。私も現代を生き抜くべく、多様性を認めつつ、寄り添う気持ちを大切にしております。意外に病院内には、同じような人種が男女を問わず多い。お互い苦労しますね。

病院内には、毎日多くの喜怒哀楽が発生します。病院内の紛争は、海外の国際問題と何ら変わらず、平和への和平交渉は困難を極めます。しかも昭和の親父には、ハラスメントに引っかけられないように発言することは、困難この上ないものです。

患者さんの「〇〇さんが、とっても怒っています。」や「必要な器材が届いていない。」など、朝から晩まで色々な案件が迷い込みます。こんな時、ドラマの世界なら、ありえない展開で救世主が出現して、ハッピーエンドの結末が待っている。イケメンの医師であれば、キラキラした目で見つめてあげるだけで問題は解決する。

しかし一般人の私が、ギラギラした目で微笑んだら「キモっ」と思われ、優しい言葉をかけるとそれは余計な一言で、若手を困惑させ、ベテランを怒らせてしまう。無言でクールな感じを装っていると、なんか機嫌が悪いらしいよ。怒っているみたい。など、変な勘違いをされて周りとの距離がどんどん遠ざかっていく。

最近、いろんな人と食事をする、スタッフ各々の**押し活**で**沼**にハマって抜け出せない人が多いのに驚く。宗教はなんか怖いし、身近な人には興味が持てない。そんな若者が推しのために遠征に出かけ、推しのためにはお金を湯水のように使っていく。そんな彼らも、私の差し入れだけは、最高の笑顔で返してくれる。自分が何の押し活をしているかよくわからなくなる。名付けて、「桃太郎・きび団子作戦!」。これは、院内のいろいろなスタッフに無理なお願いをするときに非常に役に立つ。インセンティブの概念があまりない日本で、プラスαの仕事に対して支払われるべき対価であると思う。しかしお財布には厳しい。それでもスタッフの最高の笑顔は、私を心地よくさせ、また財布の紐を緩めてしまっている。

同様に、医師の『大丈夫ですよ!』は、どんな痛み止めよりも効果があるらしい。看護師に「患者さんの元に行き、安心させてきてください」と言われれば、この魔法の言葉を投げかけて、患者さんは安堵の表情を浮かべ、看護師さんにはGood Job!と言わんばかりに迎えてくれる。

激痛に歪むときのロキソニンよりも主治医の愛の言葉! これは整形外科病棟でのベテラン看護師達の暗黙の了解である。しかし、麻酔科の使うフェンタニルには負ける気がする。

生きにくいこの魑魅魍魎が住む世の中で、ちょっと共感できて、世の悩める皆様への明日への福音となれば幸いです。それでは!

令和 6年 3月 副院長／内部統括・監査室室長／整形外科部長 東 高弘



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
データから見る診療実績...	3
初期臨床研修医体験記 ...	5
お知らせ	6

ハイライト

- 1月に入職した医師を紹介しします。
- 新規購入機器を紹介しします。
- 疾患別の診療実績を、手持ちデータから割り出して、報告します。
- 研修医が2年間の研修を修了しました。
- ポットラック、医療・連携の会奮ってご参加ください。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

TOPICS

～ 小山市総合防災訓練にDMAT隊が参加してきました！ ～

12月2日（土）石ノ上河川広場で開催された小山市総合防災訓練に参加してきました。小山市を震源とするマグニチュード6.9の直下型地震が発生し、最大震度6強を観測。この地震により、多くの家屋が倒壊し、道路、橋梁、通信、電気、ガス、水道などの公共施設やライフラインに甚大な被害が発生した想定で行われ、偶然にも、今回の能登半島地震と同じような災害の内容で実施されました。当院からは、DMAT隊員4名が訓練に参加し、応急救護所設営、負傷者の受入、トリアージ、手当等の訓練を行いました。今回の訓練を踏まえ、今後も市民の皆様が少しでも安心できる体制を整備していきます。



ドクターの紹介

新たに2名の医師が入職しました。



形成外科
医員
高木 萌伊

このたび、形成外科の医員として1月より就任しました、高木 萌伊（たかぎ めい）と申します。埼玉県出身、東京学芸大附属高校卒、信州大学卒で初期研修より自治医科大学附属病院で働いており、医局派遣として当院へ来ています。見学して1日で入局を決めましたが、小さいころから掃除や整理整頓など、「きれいに整える作業」が好きだったため、この科に進んでよかったと思っています。外来では、粉瘤や脂肪腫などの体のできものを主に取り扱っています。個人的には、顔のしみを診てレーザーを打つのが好きです。

こちらで勤務するのは3ヵ月と短い間です。まだ経験年数も浅く、学ぶことの多い身ですが、よろしくお願いいたします。



麻酔科
医員
椎名 佐起子

令和6年1月より新小山市市民病院麻酔科に赴任しました、椎名 佐起子（しいな さきこ）と申します。

獨協医科大学医学部を卒業後は、獨協医科大学病院にて初期研修を行い、同院麻酔科に入局勤務しておりました。各科・各職種の意見を尊重し、安全で円滑な医療を提供できるよう尽力したいと思います。至らぬ点も多いかと思いますが、小山地区の医療に精一杯貢献したいと思います。よろしくお願いいたします。

「CABGの際のグラフト採取に内視鏡下血管採取装置（EVHシステム）」を導入しました！」

この度、新たに「ゲティンゲ製 Vasoview Hemopro 2 内視鏡下血管採取装置 EVH システム」を導入しました。

この装置は、CABG(冠動脈バイパス移植術)における大伏在静脈や橈骨動脈を採取する際に使用する内視鏡デバイスです。効率的かつ効果的な血管採取のため高品質なグラフトが採取可能となります。

従来の大伏在静脈採取の場合、大腿部を20 cmから25 cmの切開が必要でしたが、この装置では2 cmの切開を2か所での手技が可能となります。そのため創部感染のリスク低減、離床の促進、手術時間短縮や美容的側面など患者様のメリットも大いに見込めます。

今後とも医療技術の向上を図り、患者さんの立場に立った医療に努めてまいります。

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただきますようお願い致します。



従来



EVH使用



データからみる当院の診療実績

～ 外科 編～



◆ 当院の外科について

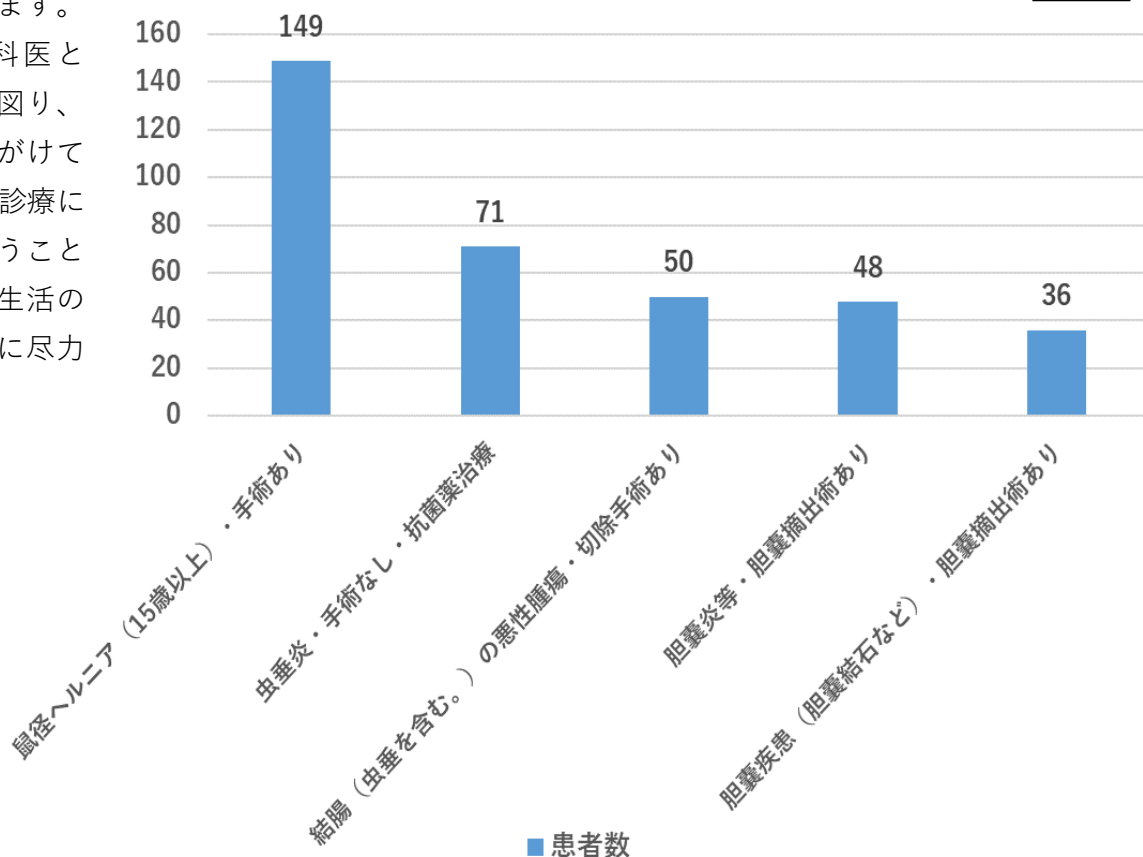
■ 令和4年度 診断群分類別患者数等（外科患者数上位5位まで）

外科では、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの消化器疾患、脾臓・肛門・乳腺・ヘルニアなどの一般外科、腹腔鏡を利用する内視鏡外科の症例に対して、消化器内科をはじめ他科と連携し外科的治療を中心に診療しています。「病棟カンファレンスと総回診」、「術前カンファレンス」を定期的に行い、全外科医が患者の診療内容を共有し、独りよがりにならない「真のチーム医療」を実践しています。また、化学療法に関しては、専門外来を週3回開設しています。

外科全体の手術件数は、年々増加傾向にあります。入院前には、麻酔科医と連携し情報の共有を図り、丁寧な術前説明を心がけています。また、術後の診療についても細やかに行うことで、早期社会復帰や生活の質が低下しないように尽力しています。

令和4年度診断群分類別患者数等（外科患者数上位5位まで）

図1



※表示の都合上、各患者数は入院期間における主な疾患が1つのみ選択されるため、実際の患者数とは異なる場合があります。

■ 令和4年度 診断群分類について県内医療機関との比較

次のページの①（図2）②（図3）③（図4）は、当院外科の上位3位までの診断群分類について、県内の医療機関との「患者数」、「平均在院日数」を比較したデータです。

当院は、県内の医療機関（3次救急含む）の中で上位の患者数を受け入れています。

また、平均在院日数は急性期の最適な治療を選択することで在院日数の短縮を図り、全国平均より短い日数となっています。今後も地域の急性期医療の役割を果たし貢献できるよう努めてまいります。

※他医療機関のデータは、公表されている各医療機関のホームページから作成しています。

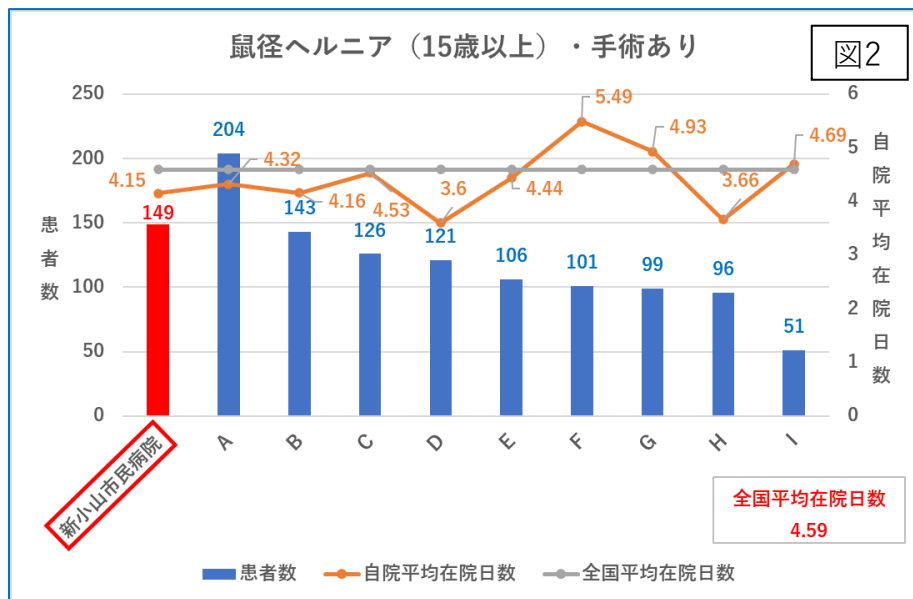


データからみる当院の診療実績

～ 外科 編～



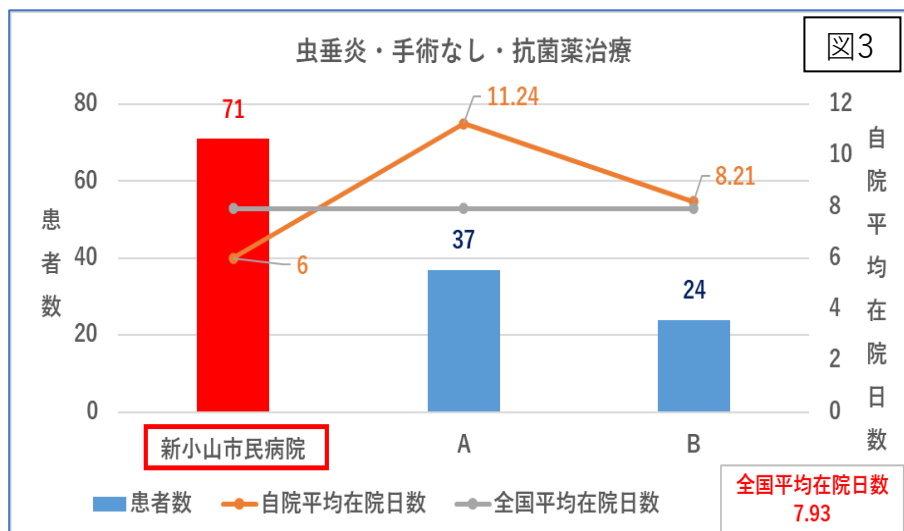
① ヘルニア（15歳以上）・手術あり



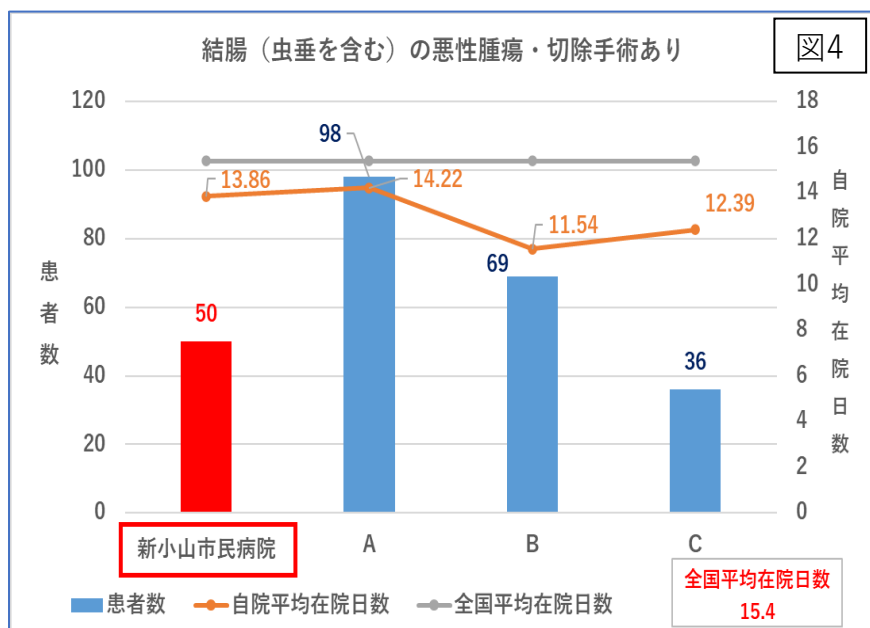
当院ではメッシュという人工の膜を使用した治療「テンション・フリー・メッシュ法」を行っており再発率は従来法の1/10以下という好成績を得ています。

② 虫垂炎・手術なし・抗菌薬治療

虫垂炎に対して抗菌薬・補液等による保存的治療の症例です。



③ 結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍・切除手術あり



大腸がんは結腸がんと直腸がんがあり、前者が該当します。大腸がんは、当院のがん治療の中で多い疾患であり、手術・化学療法を積極的に行っています。外科では、がん治療に対し、粘膜切除、腹腔鏡を用いた手術、開腹手術を症例ごとに複数の医師によるカンファレンスで検討して選択しています。特に、腹腔鏡を用いた手術は、従来の開腹創の1/3程度の傷で治療することができるため、術後の痛みの軽減や早期退院に貢献しています。日々、多様化・高度化するがん治療に真摯に向き合っています。

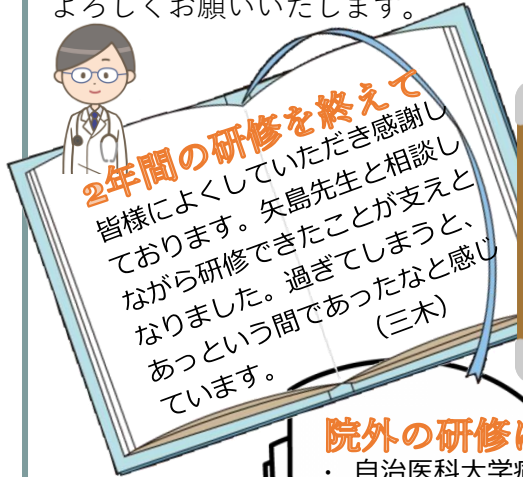


初期臨床研修医、2年間の研修が修了しました。



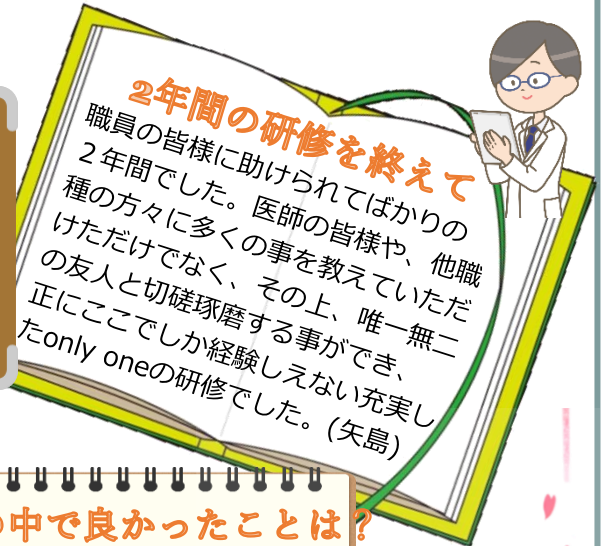
2022年度に入職した2名の研修医の先生が、無事3月に初期臨床研修が終了します。

当院も初めての初期臨床研修でしたので、色々と準備不足もありましたが、それでも研修医の先生たちは、一生懸命に取り組み、院外の病院へも、雨の日も風の日も毎日自転車で通い、頑張って研修していました。院外での研修を引き受けてくださった先生方に対しても、当院からの連絡不足など至らない点もあり、大変ご迷惑をおかけいたしました。随時修正していきたいと思いますので、次年度以降も引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。



どの診療科に興味を持ちましたか？

- ・研修した科はすべて興味を持ちました！
- ・全科魅力的で、進路を決めるのにとても時間がかかってしまいました！



院外の研修はどうでしたか？

- ・自治医科大学病院では市中病院とは違う研修となり得るものがありました。
- ・クリニックでは温かく迎えていただきました。

研修の中で良かったことは？

- ・患者さんの数が多いこと。
- ・学会・院内、計2回症例発表ができたこと。

能登半島地震におけるDMAT(災害派遣医療チーム)派遣！

令和6年能登半島地震での被災地の災害医療支援のため、栃木県からの派遣要請を受け、宮脇医師、業務調整員3名、看護師3名の計7名で新小山市民病院DMAT隊を結成し、1月6日(土)から9日(火)の4日間、石川県で医療活動を行いました。また、1月25日(木)から30日(火)の6日間は、当院2隊目となる、岡田医師、業務調整員3名、看護師1名が医療活動を行いました。

最初の派遣では、小松基地において、被災地の能登半島より自衛隊の大型ヘリコプターで搬送されてきた患者さんの受け入れや、基地近郊の搬送先病院へ救急車で送り出す活動が与えられました。ヘリコプターの一回の搬送人数は15~16名程です。しかし、ヘリから搬送先病院に搬送するために配備された救急車の台数は限られており、搬送開始までの間、寒空の下で長時間待機する患者さんが出る事が予測され、容態の悪化が懸念されました。そのため、リーダーの宮脇医師が、自衛隊衛生班隊長と基地内で一時的に患者さんを収容できる場所の借用交渉をし、許可が下りてすぐに収容場所のベッド配置・環境調整などの準備を行いました。ヘリ到着後は、搭乗してきた他のDMAT隊員と共に患者さんの容態の確認を行い、搬送順位の調整を医師へ依頼し、患者さんの負担が軽減できるよう調整しました。大型ヘリ3機、患者46名をヘリから搬送車両へ移し、医療機関へ送り出しました。最初はうまく回らなかった部分もありましたが、何度も調整してきたことが功を奏し、2機目、3機目は比較的スムーズに収容することができました。

現場状況の変化や情報量の不足という災害時特有の状況にも関わらず、患者さんの容態を悪化させることなく、無事に搬送先病院へ送り出すという活動が行えたのも、市民病院のチームワークの賜物だと感じました。

発災後1週間でまだ情報も錯そうし、活動も大変でしたが、金沢市内と小松市内の活動だったため、現地の被災状況はそれほどではなく、夜には身体を休めることができ、食事も温かいものが取れたことが唯一の救いでした。今回の貴重な経験を踏まえ、災害拠点病院としての今後の対応に活かしていけるよう、また医療職としての職務に活かしていけるように努めていきたいと思っています。



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・脳神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来患
者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。



地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>

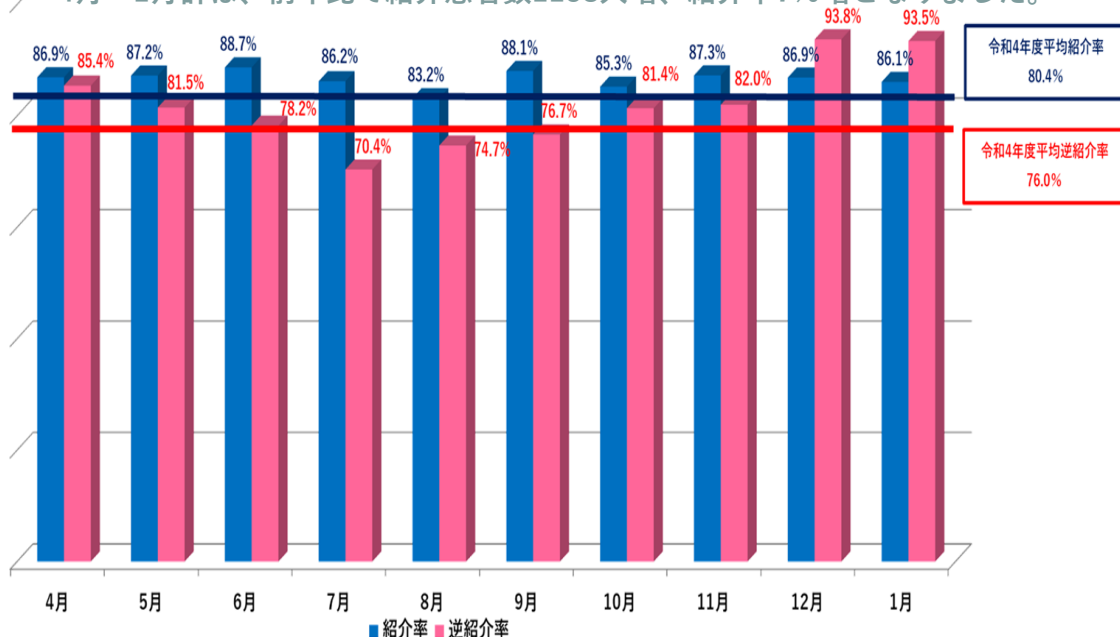


独法化10周年を
記念して記念誌を
作成しました。
ぜひご覧下さい。

患者支援センターからのお知らせ

いつも当院運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

4月~1月計は、前年比で紹介患者数1158人増、紹介率7%増となりました。



第46回 地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

第46回「地域完結型医療・連携の会」では、座長 宮脇副院長、発表者 脳神経外科 紺野医師、外科 森山医師、心臓血管外科 佐藤医師がご紹介いただいた患者さんの症例報告を行いました。

次回は、3月21日(木) 19:15 ~ 循環器内科、呼吸器内科、眼科を予定しております。今後も皆様に、より満足いただけるセミナーになるよう努めてまいりますので、ご参加をお待ちしております。

- ・日時 9月21日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 宮脇副院長
- ・症例報告者
脳神経外科 紺野医師
外科 森山医師
心臓血管外科 佐藤医師
- ・院外参加者 16名



地域完結型 医療・連携の会

奇数月、
第3木曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

次回 3/21(木)
19:15 スタート

ポットラック カンファレンス

偶数月、
第1火曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

4/2, 6/4, 8/6,
10/1, 12/3, 2/4

	日 程	症例報告
第48回	令和6年 5月16日(木)	整形外科・皮膚科・形成外科
第49回	令和6年 7月18日(木)	外科・心臓血管外科・循環器内科
第50回	令和6年 9月19日(木)	脳神経内科・糖尿病代謝内科・眼科
第51回	令和6年 11月21日(木)	脳神経外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科
第52回	令和7年 1月16日(木)	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第53回	令和7年 3月13日(木) ※第2木曜日	消化器内科・外科・小児科